

指 定 管 理 者 評 価 シ ー ト

所 管 課	健康福祉部 福祉推進室 障害福祉課
評価対象期間	平成25年4月1日～26年3月31日

施 設	名 称	ひまわり荘
	所 在 地	兵庫県川西市小戸3丁目12番10号
	設置目的	在宅の身体障害者等を通所させて、創作的活動、機能訓練、介護方法の指導、入浴サービス、緊急一時保護事業等を行う事を業務とする。
	利用料金制	非利用料金制 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制
指 定 管 理 者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定業務の内容	<p>(1)在宅の身体障害者等を通所させて、創作的活動、機能訓練、介護方法の指導、入浴サービス、緊急一時保護事業等を行うこと。</p> <p>(2)施設の利用の承諾、その取り消し、その他福祉センターの利用に関する事。</p> <p>(3)施設の利用料の徴収及び免除に関する事。</p> <p>(4)施設及び付属設備の維持管理に関する事。</p> <p>(5)施設の開館時間及び休館日の変更に関する事。</p> <p>(6)そのほか、市長が必要と認める業務に関する事。</p>	
指 定 期 間	平成24年 4月 1日～29年 3月31日	

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
1施設の設置目的の達成に関する取組み[有効性]	B		A		
(1)施設の設置目的である事業運営の達成	B		A		
事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	B	講座事業の送迎を確保していることで、当該年度利用者が増加しました。	A	講座については、利便性を高めるための取り組みを行った結果、利用者が増加している。	特になし
利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	B				
施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	B				
改善項目		障がい児(者)地域生活・就業支援センターとの情報交換を行い、ニーズがある利用者への働きかけができるように関係を作り上げていきます。		相談支援事業所と連携を深めるとともに、さらなる広報活動が求められる。	
(2)施設の利用状況及び事業への参加状況	B		A		
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	B	生活介護事業において、施設入所や死去により年間の利用者数は減少しました。(その他の利用者の年間利用実績は前年並みでした。)	A	施設の目的に沿った利用はなされているものの、生活介護に関しては死亡や施設入所などやむを得ない理由により利用者数が減少している。	特になし
実施された事業への参加者数の増が図られたか。	B				
改善項目		講座事業において、問い合わせをいただいても利用につながらないケースがあったので、丁寧な事前説明や希望の確認を今後も続けていく必要があります。			

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(3) 利用者の満足度	A		A		
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A		A		
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	A	入浴利用の増加対策(急遽入浴中止者がでた場合にほかの方が入浴できるように補欠制度を設けました)や昼食業者の変更などに取り組み、利用者の方に喜んでいただきました。	A	利用者の意見を把握し、サービスを向上するために一定の改善が図られている。	特になし
利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A		A		
その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A		A		
改善項目					
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A		A		
(1) 経費の節減	A		A		
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B	修繕費において修繕箇所が少なかったことや準職員退職後の補充を年度内は臨時職員で対応したことにより予算が減額できたものもありましたが、保険料やガソリン代・パソコンの基本ソフトのサポート停止によるパソコンリースなどの増額があり効果は多くありませんでした。	B	経費削減に努めているが、支出が増えた部分もあり、あまりその効果が表れていない。	特になし
指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	A		A		
改善項目		定期的なもの・劣化によるもの以外の修繕費用が必要とならないように、全職員が継続して取り組んでいきます。		今後においても経費の点検等を継続的に行い、一層効率的な運営を行っていく必要がある。	

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価	B		A		
収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B	講座事業の送迎を実施できることで、新規の利用者がありました。しかし、実利用につながらなかった方(65歳以上で手帳未所持など)がおられました。	A	事業改善を図ることで、若干ではあるが新規の利用者が増えている。	特になし
改善項目		引き続き、重度障がい者の生活の場であることを念頭に、支援内容の充実とともに担当課と共に利用者が希望する支援(訓練専門職の配置)の実現をめざします。		利用者を増やすために、支援内容をさらに充実させる方策を検討する必要がある。	
(3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価	A		A		
収支のバランスが適切であったか。	B	人事異動により予算計画外の支出増や利用者の退所・死去による収入減がありました。	B	概ね適切に収支バランスのとれた運営が行われている。	特になし
経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	A	その他の収支についてバランスが取れるよう配慮し、適切にまた効率的に執行できました。	A		
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A		A		
改善項目		引き続き備品の老朽化による買い替えが必要になっており、修繕・改修・新設については市に対し優先順位をつけて計画書等により提言しています。		老朽化対策については計画的に管理していく必要がある。	
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	B		B		
(1) 管理運営の実施状況	B		B		
施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	C	地道に取り組んでいく必要がある項目なので担当課と情報交換等続ける必要があります。	B	研修や施設の維持管理については概ね適切に実施されている。	利用者のニーズに対応した支援が行えるよう、必要な人員配置を行われたい。
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	B				
施設の維持管理が適切に行われたか。	B				
指定管理者の提案による新たな取り組みは実施されたか。	C				
改善項目		機能訓練の専門職の配置やショートステイ施設の設置など継続的に取り組んでいきます。		市などと連携を図りながら、さらに適正な管理運営に取り組んでいく必要がある。	

評価項目及び評価のポイント	自己評価(指定管理者)		一次評価(市・所管課)		二次評価
	評価レベル	所見	評価レベル	所見	所見
(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	B		B		
施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	A	移動リフトを導入し安全対策を強化しました。また、2人介助の徹底を図っています。引き続きひやりハットを活用し重大事故につながらないように対応策を検討していきます。	A	安全対策には適正に取り組んでいるが、個人情報の取り扱いなどまだ改善する余地もある。	個人情報の取り扱いには十分注意されたい。
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	B		B		
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	B		B		
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	B		B		
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	B		B		
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。					
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	A		A		
改善項目		豪雨災害など災害発生が各地で多くなっています。危機管理体制の再確認、意識の徹底を図っていきます。		安全対策に対する職員のさらなる意識向上などに努める必要がある	
総合評価	B	指定管理施設としておおむね適切に管理運営ができています。しかし、運営が硬直的にならないように常に見直し改善を続けていきます。	B	指定管理施設としておおむね適切に管理運営ができています。	概ね適正に運営されている。
改善項目		長年ひまわり荘利用者が要望している事項が実現に向かうよう担当課と協議を続けていく必要があります。(訓練の専門職員の配置・ショートステイ施設の設置など)		利用者ニーズに沿ったサービス提供ができるための方策を引き続き検討していく必要がある。	